

自己評価

令和2年度

評価者(職氏名): 園長 佐藤昌彦



1	保育方針・教育方針や目標を職員や保護者などが共通理解できるように努めている	5
2	保育計画は地域の実情も踏まえて計画している	5
3	定期的な職員会議等を通して職員の資質向上、業務効率化や改善等に努めている	4
4	職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	4
5	基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して対応している	5
6	室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している	4
7	園児が安全に活動しやすい環境を整えている	5
8	保育に必要な記録をしている	5
9	園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的実施している	4
10	避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	5
11	災害時の食料・飲料などを備蓄している	5
12	園内での事故や災害時に適切な対応をしている	4
13	園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者が把握している	5
14	感染症が発生した際、マニュアルに基づいて対応している	5
15	保育教諭の専門性の向上のため、研修に努めている	5
16	保護者と連携した保育を行っている	5
17	保護者に園児の様子を伝えている	4
18	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っている	4
19	地域との交流を図る活動を行っている	4
20	保護者の相談を受け、保育に役立てている	4
21	保育教諭の自己評価などによる課題が解消できるように努めている	5
22	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長まで届くようになっている	4
23	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について児童相談所等の関係機関に照合、通告を行う体制が整っている	4
24	食育を通して、こどもたちが食事を楽しむことができる工夫をしている	5
25	食物アレルギーは、個別に配慮している	5
26	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮をしている	4
27	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき指導計画を改定している	4